



町長の行政報告をお知らせします

八峰町3月議会定例会が2日から16日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。

町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

八峰町消防出初式を開催 今年の無火災を誓う

1月5日、八峰町消防出初式を開催しました。

式典に先立ち、秋田銀行八森支店前にて、消防団員129名とポンプ車など15台による堂々の分行進が披露され、その後、八峰町文化ホールにおいて式典を行った。長年にわたつて消防活動に尽力された団員の方々の表彰を行うとともに、全員で今年の無火災を誓いました。まだ暖房器具を使用する季節ですので、消防団や消防署など関係機関と連携し火災予防運動を実施してまいります。



3月議会定例会に提出した主な議案

- 八峰町手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定について
- 八峰町中小企業融資企業あつせん条例の一部を改正する条例制定について
- 平成30年度一般会計補正予算追加した主な歳出
- 八峰町中小企業融資企業あつせん条例の一部を改正する条例制定について
- 雷による防災無線の修繕工事、各特別会計予算
- 平成30年度八峰町一般会計及び内訳は2~3ページ参照

おがる八峰しいたけプロジェクト 菌床しいたけ10億円産地へ

未来づくり交付金事業についてです。おがる八峰しいたけプロジェクト事業で進めてまいりました「菌床しいたけホダ生産・栽培研修施設」は、昨年12月末で建設工事が終了し、指定管理者である有限会社峰浜培養が1月中旬から各機械施設の試験操業を行い、2月から本格的に稼動しています。

2月3日には議員の皆様をはじめ、県関係者、建設関係者、土地提供者、JAやしいたけ栽培関係者など多数の皆様のご出席をいただき、「新築落成記念式典」を開催することができました。これまでご支援、ご協力をいただきました議員の皆様をはじめ、町民の皆様、関係各位に心から感謝申し上げます。

今後は、良質ホダの安定生産と出荷量の増大、生産農家の所得向上、新規就農者の育成、菌床しいたけの10億円産地を目指し、より一層努力して参りますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

プレミアム付き商品券 換金率は高いが課題も

プレミアム付き商品券販売事業の実績について報告します。この事業は、個人消費の拡大を図ることにより、町の経済活性化につなげることを目的に、平成20年度から白神八峰商

秋田県飲酒運転追放等競争22位 気持ち新たに飲酒運転撲滅へ

1月9日、八峰町交通指導隊出隊式を役場において開催しました。

昨年の秋田県飲酒運転追放等競争においては、25市町村中22位と前年の第1位から大きく順位を下げたほか、11月末には死亡事故も発生しています。今年からは気持ちを新たに、交通関係各位のご協力の下、飲酒運転の撲滅や交通死亡事故ゼロの継続に向けた取り組みを強化するとともに、啓発活動などに努めてまいります。

移住定住促進用空き家改修事業 2棟改修終了

県の補助金を活用した「移住促進用空き家改修事業」において、今年度新たに石川地区と水沢地区に各1棟、改修を終えました。石川地区的空き家には、昨年度の「お試し移住ツアーワーク」に参加された、仙台市の40代男性が移住を決め、12月末から入居しています。水沢地区的空き家については、今後「お試し移住住宅」として活用しながら、新たな移住者を募つていきたないと考えています。また、「子育て世帯向け民間賃貸住宅建設支援事業」については、12月に2棟、完成検査を行ない民間事業者へ補助金を支出しています。うち1棟については、入居予定者が決定したとの報告を受けており、残りの1棟

日本ICTアワード審査委員長賞受賞 今後もICT教育の充実を

全国ICT教育首長サミットについてこの度、ICT教育を積極的に推進する首長が中心となり設立された「全国ICT教育首長協議会」の主催により、「全国ICT教育首長サミット」が開催されました。その事業の一環である、全国の自治体における学校現場等での情報教育

についても、問い合わせがあるとのことでしたので、近々に入居者が出ることを期待しているところです。

町の平成30年産米の生産の目安 生産数量は前年から125トン増

平成30年産米の「生産の目安」についてですが、県では「需要に応じた米生産の実施に向けた取り組み」として、県段階の「生産の目安」を提示することとし、昨年12月1日、秋田県農業再生協議会臨時総会を開催し、県全体の生産の目安を「40万8千7百トン」とすることを決定し公表・通知がされています。

この通知を受け、町では去る11月13日の農業再生協議会臨時総会で決定された取組方針に基づき、町の「生産の目安」を算定したところです。その結果を受け、2月7日に開催された臨時総会で生産の目安が協議され、町全体の生産数量は昨年より125トン多い6千69トンに、面積換算では昨年より19ヘクタール多い1千65ヘクタールとする目安が決定されました。協議会では生産者個々に生産の目安を算定し、協議会長名で郵送により提示したところです。

また、農業再生協議会では、2月28日に開催した農事班長会議で、「生産の目安」の算定方法などについて説明し、作付確認野帳等関係資料を各農家に配布しました。

